

快適で住みよい住環境づくり 宅地造成・住宅建設

地域開発の進展などに伴い、人口・世帯は増加傾向にあります。

本市には、坪ヶ迫地区、刈敷田地区など十地区に五八五世帯の市営住宅や分譲住宅地があります。

二十一世紀に向けての快適で住みよい住環境の整備の一環として、平成四年度より馬場野地区に十一・二杉の住宅団地宅地造成事業を進め、平成八年三月に完成しました。これにより、約一五〇世帯の入居が可能となります。

- ① 馬場野住宅団地
- ② 総合福祉センター完成予想図
- ③ 市民の森構想図



思いやりのあるふれあいの場 総合福祉センター

近年、家族共働きの傾向や老人の高齢化が進み、児童福祉、老人福祉などの対策が急がれています。本市では、平成六年度より「総合福祉センター」の建設計画を進めてきました。

総合福祉センターは、市内小泉地内に、一・一杉の用地を造成し、鉄筋コンクリート二階建、建物面積は四、三六〇平方メートルで、老人福祉センター、デイサービスセンター、介護支援センターなどを備える予定です。

完成は、平成九年度の予定で、現在は用地の造成などが進められています。

市民のいきい空間づくり 市民の森

歴史と伝統のある相馬市は、自然も多く残されています。しかし、開発のための自然破壊につながってはなりません。市民がつどい、やすらぎのあるまちづくりにつとめ、二十一世紀にこの貴重な遺産を受け継ぐことが大切です。

市民の憩いと自然の保護を目的として、「市民の森」を市内西山・粟津・小野地内に計画中です。

総面積約一〇〇杉には、散策路や、アスレチック広場、ロッジやキャンプ施設が設けられる予定です。郷土の歴史や市民の文化活動、健康づくりの拠点として整備されます。